

平成30年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年6月11日

上場会社名 株式会社ウイルコホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 7831 URL <http://www.wellco-corp.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長(氏名) 若林裕紀子
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部部長代理 (氏名) 林岳志 (TEL) 076-277-9831
 四半期報告書提出予定日 平成30年6月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年10月期第2四半期の連結業績(平成29年11月1日～平成30年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年10月期第2四半期	7,659	△8.0	△64	—	△158	—	△236	—
29年10月期第2四半期	8,321	25.9	99	△49.4	103	△20.2	122	4.9

(注) 包括利益 30年10月期第2四半期 △123百万円(—%) 29年10月期第2四半期 242百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
30年10月期第2四半期	△9.62	—	—	—
29年10月期第2四半期	5.00	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年10月期第2四半期	16,939	6,320	37.3
29年10月期	16,452	6,546	39.8

(参考) 自己資本 30年10月期第2四半期 6,320百万円 29年10月期 6,542百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	銭	円	銭	円
29年10月期	—	0.00	—	4.00	4.00
30年10月期	—	0.00	—	—	—
30年10月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年10月期の連結業績予想(平成29年11月1日～平成30年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	16,200	4.9	△60	—	△230	—	△370	—	△15.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

30年10月期2Q	24,650,800株	29年10月期	24,650,800株
30年10月期2Q	52,689株	29年10月期	52,688株
30年10月期2Q	24,598,111株	29年10月期2Q	24,598,692株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載した予想数値は、現在入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 2 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成29年11月1日～平成30年4月30日)の我が国経済は、2018年1-3月期のGDP成長率が、年率換算で実質▲0.6%減と、前四半期までは8四半期連続でプラス成長となっておりましたが9四半期ぶりにマイナス成長となりました。国内の企業業績は堅調に推移してきましたが、原油高及び円高の影響から先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境は、4月の印刷・情報紙の国内出荷は前年同月比6.1%減と11か月連続で減少しております。紙媒体による広告がネット広告に押されるという状況が引き続いております。無料情報誌においても、求人広告は一定の水準を維持しているものの、エリア広告の出稿の減少傾向は続いております。

このような環境の中、情報・印刷事業におきましては、新たな展開としてのデジタル印刷や当社独自のセールスプロモーション関連製品の営業に力を入れた結果、これらの売上は伸びておりますが、無料情報誌やチラシ等の印刷需要の落ち込みをカバーするまでには至りませんでした。その結果、セグメント売上高は5,237百万円(前年同期比7.8%減)となりました。また、人材の多能工化等により生産コストの削減を進めておりますが、売上高の減少により先行的設備投資による減価償却費の増加をまかなうことができず、セグメント利益は110百万円(前年同期比56.3%減)となりました。

メディア事業につきましては、紙媒体広告の減少に対応する為、顧客ホームページの制作や分析、新電力会社との提携による電力販売など新規事業に取り組ましましたが、提携電力会社が電力事業から撤退するなど、当初計画を下回る結果となりました。その結果、セグメント売上高は1,164百万円(前年同期比4.7%減)、セグメント利益は63百万円の損失(前年同期22百万円の損失)となりました。

知育事業につきましては、主力商品である知育絵本が新刊需要、重版需要ともに堅調であり、昨年市場投入したスクラッチアートも引き続き好調で新刊及び重版需要に加え、新規引き合いも増加しております。一方、雑誌付録、販促品等は受注競争が激しく計画したほどの成果は上げられませんでした。その結果、セグメント売上高は1,650百万円(前年同期比8.0%減)、また、単行本調整勘定は増加いたしました。物流費等の原価低減策が功を奏し、セグメント利益は103百万円(前年同期比2.4%増)となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は7,659百万円(前年同期比8.0%減)となり、営業損失は64百万円(前年同期は営業利益99百万円)、経常損失は158百万円(前年同期は経常利益103百万円)、海外子会社清算に伴う特別損失85百万円の影響もあり、親会社株主に帰属する四半期純損失は236百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益122百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は16,939百万円と、前連結会計年度末に比べて486百万円増加いたしました。これは主として、現金及び預金の増加1,073百万円、未収入金(流動資産その他に含む)の減少460百万円によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は10,618百万円と、前連結会計年度末に比べて712百万円増加いたしました。これは主として、電子記録債務の増加136百万円、長期借入金の増加411百万円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は6,320百万円と、前連結会計年度末に比べて226百万円減少いたしました。これは主として、利益剰余金の減少335百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年10月期通期の業績予想につきましては、平成29年12月14日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,577	4,651
受取手形及び売掛金	3,416	3,438
商品及び製品	341	284
仕掛品	120	155
原材料及び貯蔵品	314	193
繰延税金資産	5	6
その他	748	255
貸倒引当金	△19	△12
流動資産合計	8,506	8,972
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,257	1,175
機械装置及び運搬具(純額)	837	771
土地	2,175	2,092
その他(純額)	1,450	1,489
有形固定資産合計	5,720	5,529
無形固定資産		
のれん	448	416
その他	59	81
無形固定資産合計	508	497
投資その他の資産		
投資有価証券	1,186	1,287
長期貸付金	146	380
破産更生債権等	37	32
その他	456	342
貸倒引当金	△109	△102
投資その他の資産合計	1,717	1,939
固定資産合計	7,946	7,967
資産合計	16,452	16,939

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,565	1,585
電子記録債務	1,292	1,429
短期借入金	1,180	1,213
未払法人税等	41	19
預り金	13	42
賞与引当金	92	92
返品調整引当金	32	40
その他	914	968
流動負債合計	5,132	5,391
固定負債		
長期借入金	2,600	3,012
リース債務	1,285	1,325
退職給付に係る負債	464	467
繰延税金負債	358	357
資産除去債務	29	28
その他	34	34
固定負債合計	4,773	5,226
負債合計	9,905	10,618
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,667	1,667
資本剰余金	1,759	1,758
利益剰余金	2,994	2,659
自己株式	△4	△4
株主資本合計	6,417	6,081
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	200	226
繰延ヘッジ損益	—	△1
為替換算調整勘定	△76	9
退職給付に係る調整累計額	1	5
その他の包括利益累計額合計	125	239
非支配株主持分	3	—
純資産合計	6,546	6,320
負債純資産合計	16,452	16,939

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年11月1日 至平成30年4月30日)
売上高	8,321	7,659
売上原価	6,528	6,023
売上総利益	1,793	1,635
販売費及び一般管理費	1,694	1,700
営業利益又は営業損失(△)	99	△64
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	5	7
受取賃貸料	11	11
為替差益	33	—
受取保険金	3	2
その他	23	13
営業外収益合計	82	38
営業外費用		
支払利息	36	44
持分法による投資損失	7	14
不動産賃貸原価	4	4
為替差損	—	64
支払手数料	8	5
その他	21	0
営業外費用合計	77	132
経常利益又は経常損失(△)	103	△158
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	79	9
その他	0	—
特別利益合計	80	10
特別損失		
固定資産除却損	2	2
投資有価証券評価損	20	—
関係会社整理損	—	85
その他	3	—
特別損失合計	26	87
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	157	△235
法人税、住民税及び事業税	36	4
法人税等調整額	△1	△3
法人税等合計	34	0
四半期純利益又は四半期純損失(△)	122	△236
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	122	△236

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年11月1日 至平成30年4月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	122	△236
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	100	25
繰延ヘッジ損益	△5	△1
為替換算調整勘定	2	84
退職給付に係る調整額	6	3
持分法適用会社に対する持分相当額	14	0
その他の包括利益合計	119	113
四半期包括利益	242	△123
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	241	△133
非支配株主に係る四半期包括利益	0	9

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年11月1日 至平成30年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	157	△235
減価償却費	219	264
賞与引当金の増減額(△は減少)	0	△0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	19	7
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△11	△12
返品調整引当金の増減額(△は減少)	—	8
受取利息及び受取配当金	△9	△11
持分法による投資損益(△は益)	7	14
支払利息	36	44
支払手数料	8	5
為替差損益(△は益)	18	29
投資有価証券評価損益(△は益)	20	—
固定資産売却損益(△は益)	△0	△0
投資有価証券売却損益(△は益)	△75	△9
固定資産除却損	2	2
関係会社整理損	—	85
売上債権の増減額(△は増加)	48	△21
たな卸資産の増減額(△は増加)	48	143
仕入債務の増減額(△は減少)	542	151
その他	202	157
小計	1,236	621
利息及び配当金の受取額	9	8
利息の支払額	△36	△40
支払手数料の支払額	△8	△4
和解金の受取額	—	380
法人税等の還付額	109	16
法人税等の支払額	△28	△41
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,282	939
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1	△0
定期預金の払戻による収入	15	2
有形固定資産の取得による支出	△893	△63
有形固定資産の売却による収入	55	310
無形固定資産の取得による支出	△22	△22
投資有価証券の取得による支出	△221	△7
投資有価証券の売却による収入	168	28
関係会社株式の取得による支出	—	△99
貸付けによる支出	—	△241
貸付金の回収による収入	6	5
その他	△6	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△898	△95

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年11月1日 至平成30年4月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△154	△100
長期借入れによる収入	600	900
長期借入金の返済による支出	△271	△355
リース債務の返済による支出	△53	△104
自己株式の取得による支出	△0	△0
非支配株主への出資の払戻による支出	—	△3
配当金の支払額	△73	△98
財務活動によるキャッシュ・フロー	45	238
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12	△6
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	417	1,075
現金及び現金同等物の期首残高	2,817	2,978
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,235	4,054

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年11月1日至平成29年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	情報・印刷 事業	メディア事業	知育事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,310	1,217	1,794	8,321	—	8,321
セグメント間の内部売上 高又は振替高	372	4	—	377	△377	—
計	5,682	1,221	1,794	8,698	△377	8,321
セグメント利益又は損失 (△)	251	△22	101	330	△231	99

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△231百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年11月1日至平成30年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	情報・印刷 事業	メディア事業	知育事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,875	1,159	1,624	7,659	—	7,659
セグメント間の内部売上 高又は振替高	361	4	25	392	△392	—
計	5,237	1,164	1,650	8,051	△392	7,659
セグメント利益又は損失 (△)	110	△63	103	150	△214	△64

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△214百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。